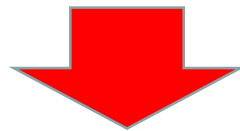


平成30年度
筑波大学教員免許状更新講習
パネルディスカッション

趣旨説明資料

筑波大学教員免許状更新講習パネルディスカッション

- ① 筑波大学の更新講習の特色
- ② 本年度の更新講習の実績と評価結果



- ③ パネルディスカッションの趣旨の確認

① 筑波大学の更新講習の特色

特色1

総合大学の特色を活かした豊富な講習の開講

特色2

講習を5つに区分した筑波カリキュラムの実施

特色3

筑波キャンパスと東京地区での開催

特色4

障害のある受講者への配慮

特色1:豊富な講習の開設

平成30年度 131講習
(当初定員 6,920名)

- 必修講習 … 4講習
(当初定員1,200名)
- 選択必修講習 … 27講習
(当初定員1,310名)
- 選択講習 … 100講習 (B33, C49, D18)
(当初定員4,410名)

特色2：筑波カリキュラム

- 必修A：教育の最新事情（共通）
- 選択必修a：教育の最新事情（現代の教育課題等）
- 選択B：教科・領域の指導力を磨く
※主に、教科指導や生徒指導等に関する内容
- 選択C：教師力（総合力・応用力）の向上
※主に、受講者の教養を深める内容
- 選択D：附属学校実践演習
※主に、授業参観や研究協議

特色3：筑波キャンパスと東京地区

○ 筑波キャンパス (茨城県自然博物館, 園芸植物育種研究所を含む)

- 6月, 7月, 8月に実施 74講習
- 必修A: 3講習 , 選択必修a: 19講習
選択B: 18講習 , 選択C: 34講習
- 延べ受講者数 : 3,463名

○ 東京地区 (文京校舎, 各附属学校, 東京臨海広域防災公園を含む)

- 6~12月に実施 57講習
- 必修A: 1講習 , 選択必修a: 8講習,
選択B: 15講習 , 選択C: 15講習
選択D: 18講習
- 延べ受講者数 : 2,224名

附属学校の活用

○ 筑波大学の附属学校は11校

- ・附属小学校,
- ・附属視覚特別支援学校
- ・附属中学校,
- ・附属大塚特別支援学校
- ・附属高等学校,
- ・附属桐が丘特別支援学校
- ・附属駒場中学校,
- ・附属聴覚特別支援学校
- ・附属駒場高等学校,
- ・附属久里浜特別支援学校
- ・附属坂戸高等学校

○ 選択D・・・各校で附属学校実践演習を実施

○ 選択B, C・・・附属視覚特別支援学校, 附属駒場中・高等学校で実施

特色4: 障害のある受講者への配慮

○ 視覚障害の場合

- 講習関係資料データの事前送付
- ティーチングアシスト等の配置
- 認定試験の特別措置

(点訳問題, 時間延長, 別室受験 など)

○ 聴覚障害の場合

- 要約筆記者, 手話通訳者等の配置
- 認定試験の特別措置

(口頭での注意事項を文書で伝える など)

② 本年度の更新講習の実績

平成30年度【資料2-2】を参照

○ 講習数 : 131講習 (昨年度より10講習増)

※ 全講習開講

- 必修A (4講習) <筑波 3, 東京 1>
- 選択必修a(27講習) <筑波19, 東京 8>
- 選択B (33講習) <筑波18, 東京15>
- 選択C (49講習) <筑波34, 東京15>
- 選択D (18講習) <東京18>

○ 受講者数 : 5,687名 (昨年より891名増)

- 受講決定者(5,714名) ・ 当日欠席者(27名)

※当初定員(6,920名)の約82%

平成30年度 関東圏からの申込み

○ 関東7都県からの申込数：5,553名（延べ人数）**97.6%**

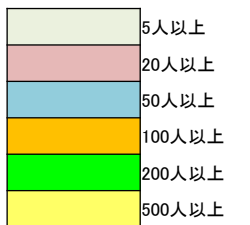
	茨城	東京	千葉	埼玉	神奈川	栃木	群馬	その他
必修A（1,010名）	681	164	62	43	24	16	2	18
選択必修a（1,079名）	680	210	69	55	24	13	3	25
選択B（1,128名）	644	216	88	70	50	13	7	40
選択C（1,964名）	1,235	327	154	103	81	32	4	28
選択D（506名）	123	171	57	57	56	16	3	23
全体（5,687名）	3,363	1,088	430	328	235	90	19	134

平成30年度 関東圏外からの申込み

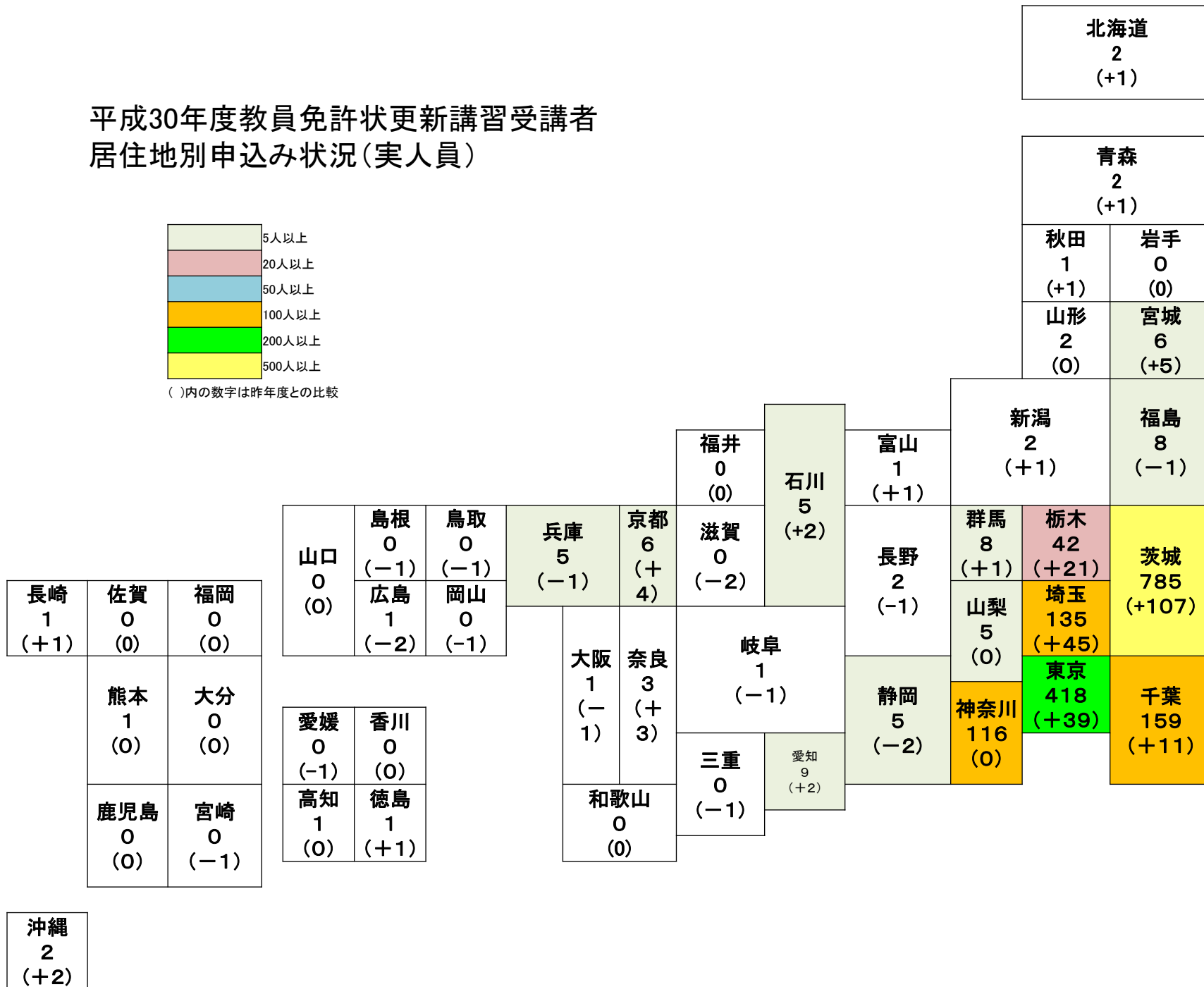
○ 関東圏外からの申込数：23道府県 134名（延べ人）

都道府県	北海道	青森	秋田	宮城	山形	福島
人数	2	4	1	10	4	21
都道府県	新潟	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知
人数	10	8	5	1	11	10
都道府県	富山	石川	京都	奈良	大阪	兵庫
人数	1	5	10	6	2	12
都道府県	広島	徳島	高知	熊本	沖縄	
人数	3	1	1	2	4	

平成30年度教員免許状更新講習受講者 居住地別申込み状況(実人員)



()内の数字は昨年度との比較



開設者	筑波大学	受講期間	平成30年7月28日			
講習名	教育の最新事情 <4クラス>					
受講者の 学校種	幼・小・中・高・中等教育・特別支援・その他	職名		担当教科等		
	(該当する箇所に○を付けてください)					

②以下のⅠ・Ⅱ・Ⅲの項目のあなたの評価について、評価基準の4～1の該当する番号に○印をつけてください。

評価の基準は以下のとおりとします。

- 4：よい(十分満足した・十分成果を得られた)
 3：だいたいよい(満足した・成果を得られた)
 2：あまり十分でない(あまり満足しなかった・あまり成果を得られなかった)
 1：不十分(満足しなかった・成果を得られなかった)

◎本評価は今後の免許状更新講習の改善と更新講習に関する情報提供のために行われるものであり、あなたの履修認定に係る評価には一切影響を与えません。

Ⅰ. 本講習の内容・方法についての(下記の5つの視点を踏まえた)総合的な評価	4	3	2	1
<ul style="list-style-type: none"> 学校現場が直面する諸状況や教員の課題意識を反映して行われていた。 講習のねらいや到達目標が明確であり、講習内容はそれらに即したものであった。 受講生の学習意欲がわくような工夫をしていた。 適切な要約やポイントの指摘等がなされ、説明が分かりやすかった。 配付資料等使用した教材は適切であった。 				
Ⅱ. 本講習を受講したあなたの最新の知識・技能の修得の成果についての(下記の4つの視点を踏まえた)総合的な評価	4	3	2	1
<ul style="list-style-type: none"> 教職生活を振り返るとともに、教職への意欲の再喚起、新たな気持ちでの取り組みへの契機となった。 教育を巡る様々な状況、幅広い視野、全国的な動向等を修得することができた。 各教育活動に係る学問分野の最新の研究動向、これまでの研修等では得られなかった理論・考え方・指導法や技術等を学ぶことができ、今後の教職生活の中での活用や自らの研修での継続した学習が見込まれる。 受講前よりも講習内容への興味が深まり、教員としての知識技能の厚みや多様さを増す一助となった。 				
Ⅲ. 本講習の運営面(受講者数、会場、連絡等)についての評価	4	3	2	1

③以下の項目は、筑波大学の今後の教員免許状更新講習に役立てるためのものです。それぞれの項目の評価について、上記の評価基準の4～1の該当する番号に○印をつけてください。

1 内容が自分のニーズに合っていた。	4	3	2	1
2 自分のこれからの実践に生かせる内容であった。	4	3	2	1
3 講師の説明が分かりやすかった。	4	3	2	1
4 本講習の形式(講義・演習など)が適切であった。	4	3	2	1
5 本講習の受講者数が適切であった。	4	3	2	1
6 教室の広さや設備等の環境が適切であった。	4	3	2	1
7 申し込みから終了までのスタッフの対応が適切であった。	4	3	2	1

◎本講習を受講してのご意見・ご感想等、お気付きの点がございましたら自由にお書きください。

②本年度の 講習 の評価結果

文科省による 評価項目

本学独自の 評価項目

② 本年度の講習の評価結果

○ 受講者評価書(事後アンケート)

☆ 文科省指定項目(3項目)

基準 4:よい, 3:だいたいよい
2:あまり十分でない, 1:不十分

I 本講習の内容・方法についての総合的な評価

II 本講習を受講したあなたの最新の知識・
技能の修得の成果についての総合的な評価

III 本講習の運営面(受講者数, 会場, 連絡等)
についての評価

② 本年度の講習の評価結果

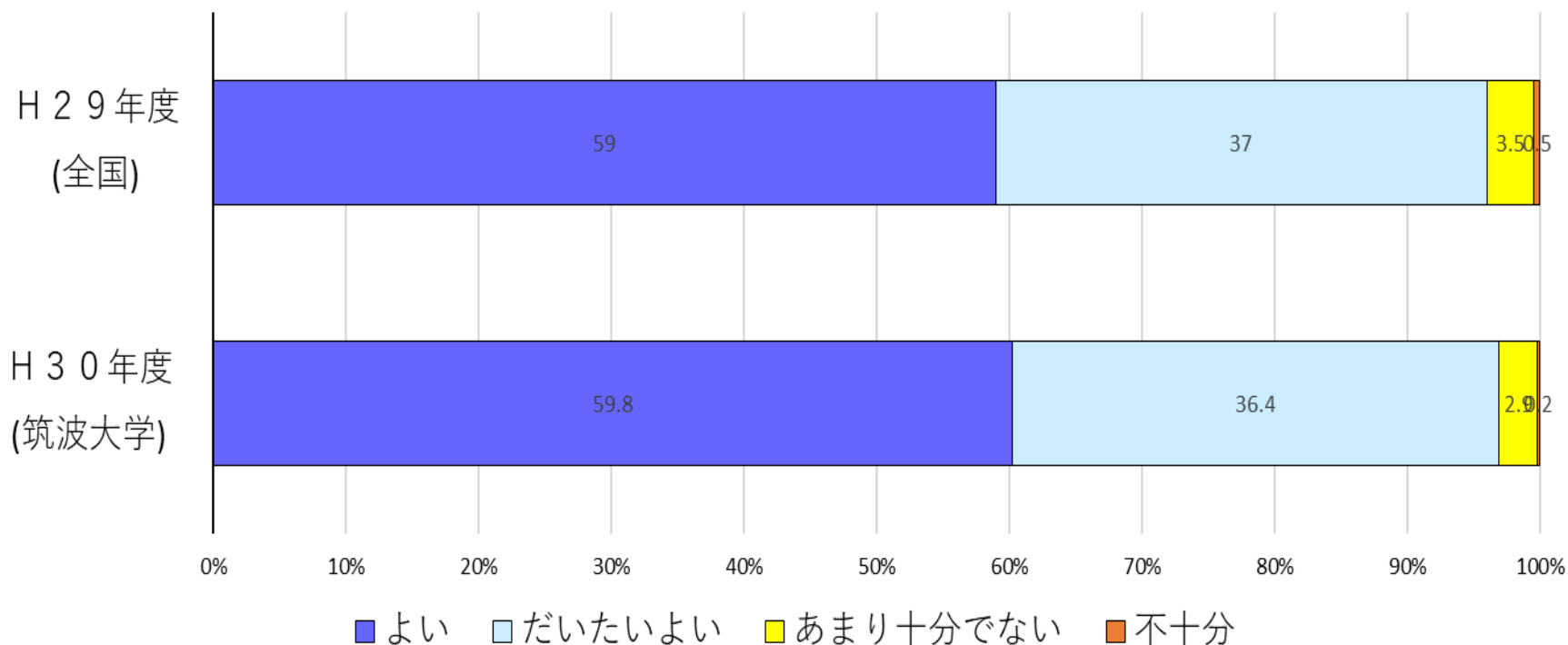
☆ 筑波大学独自の評価項目(7項目)

基準 4:よい , 3:だいたいよい
2:あまり十分でない, 1:不十分

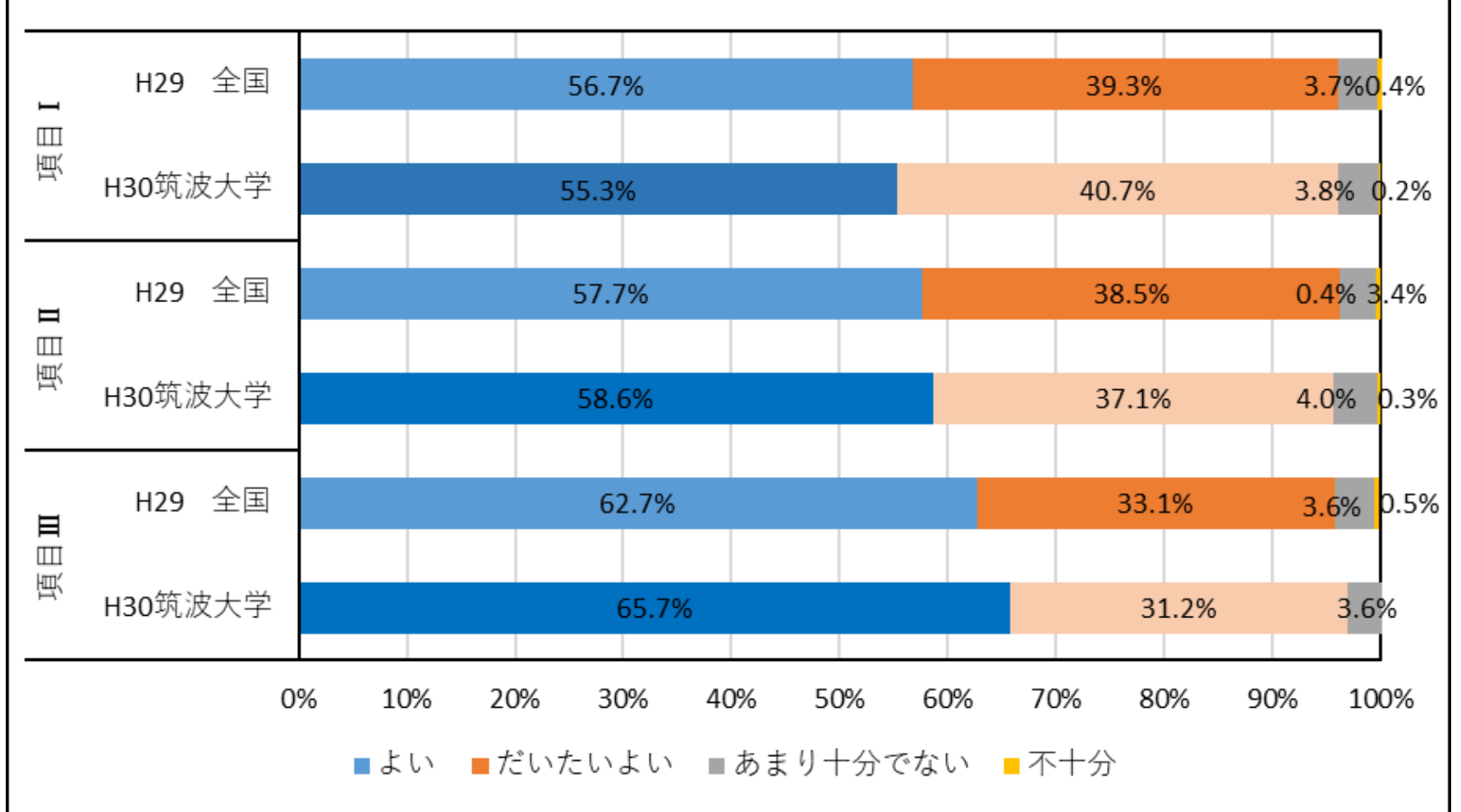
- ① 内容が自分のニーズに合っていた。
- ② 自分のこれからの実践に生かせる内容であった。
- ③ 講師の説明が分かりやすかった。
- ④ 本講習の形式(講義・演習など)が適切であった。
- ⑤ 本講習の受講者数が適切であった。
- ⑥ 教室の広さや設備等の環境が適切であった。
- ⑦ 申し込みから終了までのスタッフの対応が適切であった。

文科省指定項目による評価結果

【必修領域】 3項目の合計値



必修領域 項目別比較



必修A:昨年度評価平均との比較

・評価項目Ⅰ～Ⅲ:
文部科学省指定項目

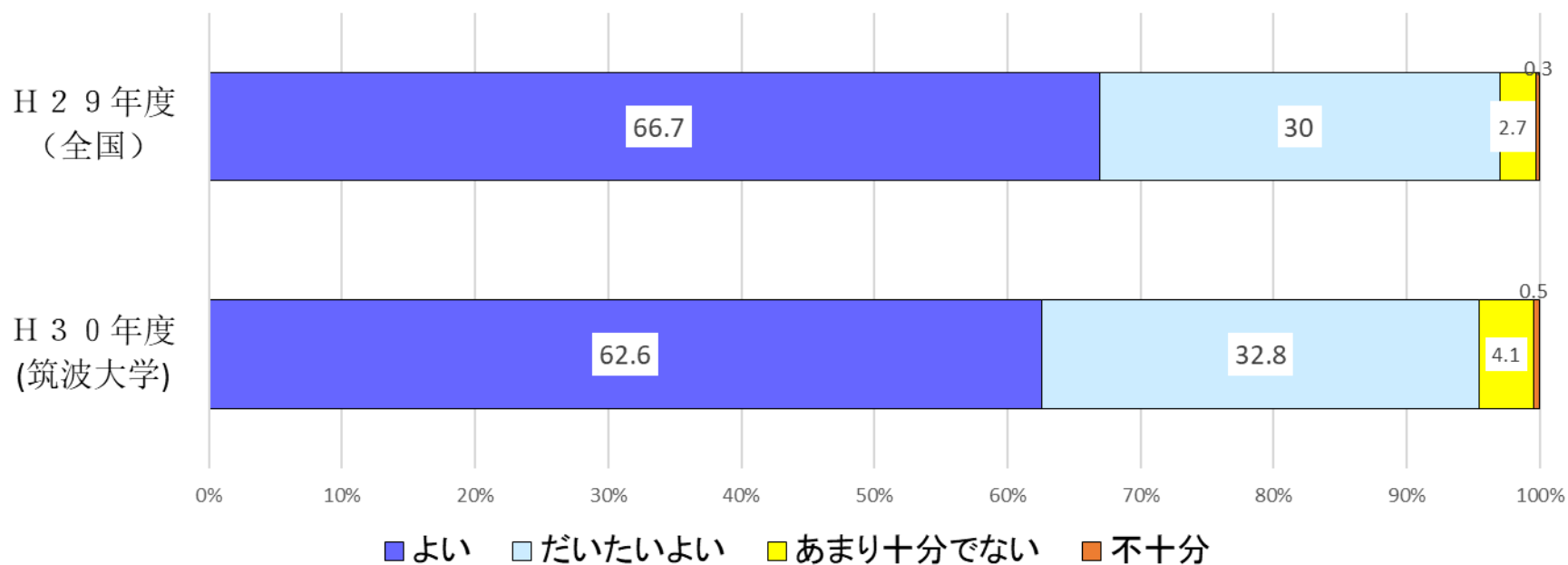
・評価項目①～⑦:
筑波大学独自の項目

必修A 昨年度 平均	3.6	3.6	3.7	3.5	3.5	3.6	3.6	3.7	3.7	3.7
評価項目	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
必修A 今年度 平均	3.5	3.5	3.6	3.4	3.5	3.5	3.5	3.6	3.6	3.6

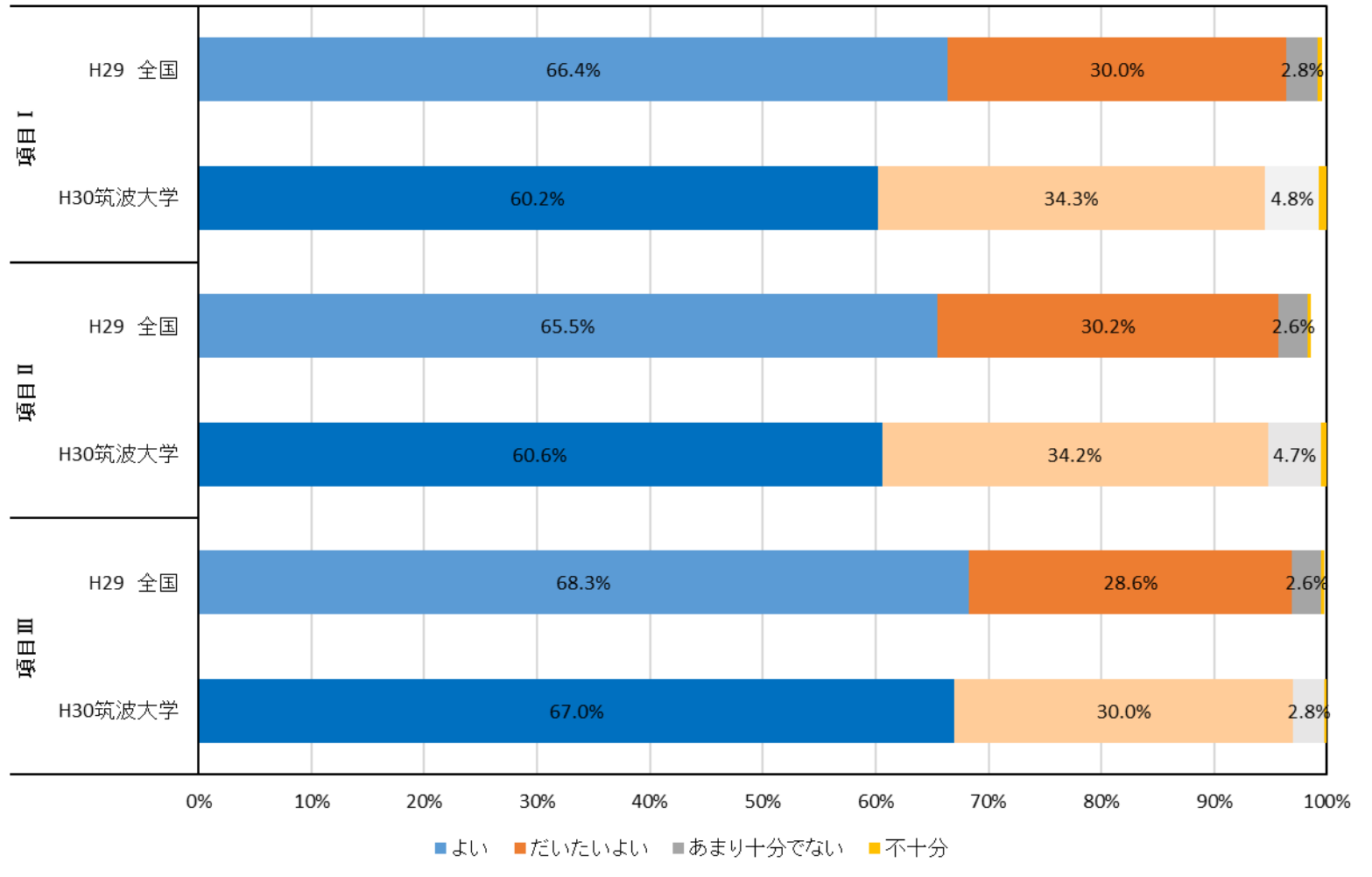
※各講習別の評価結果は【資料2-3】を参照

文科省指定項目による評価結果

【選択必修領域】3項目の合計値



選択必修領域 項目別比較



選択必修a: 昨年度評価平均との比較

・評価項目 I ~ III:
文部科学省指定項目

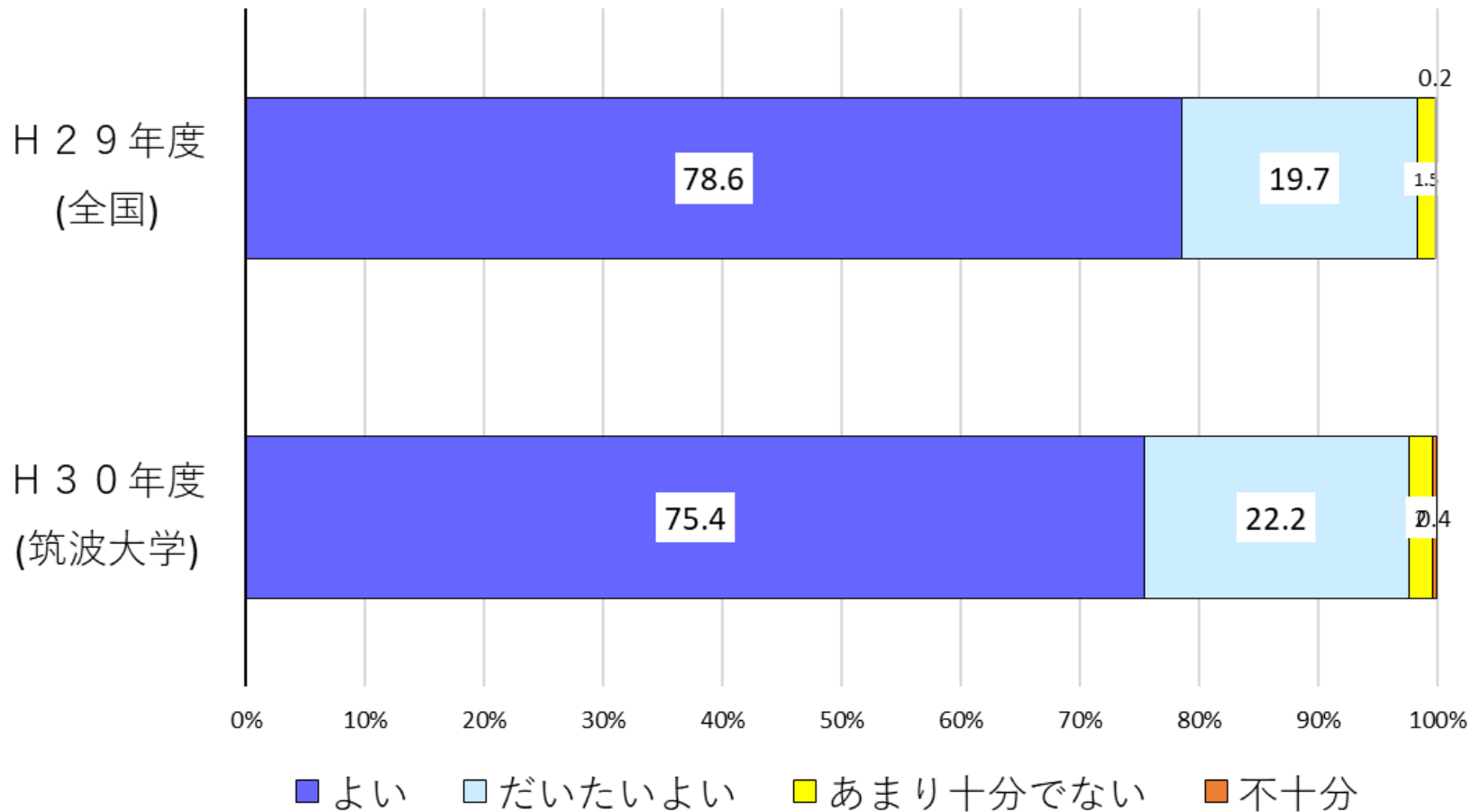
・評価項目①~⑦:
筑波大学独自の項目

選択 必修a 昨年度 平均	3.6	3.6	3.7	3.5	3.5	3.6	3.6	3.7	3.7	3.7
評価 項目	I	II	III	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
選択 必修a 今年度 平均	3.5	3.5	3.6	3.4	3.5	3.5	3.6	3.7	3.6	3.7

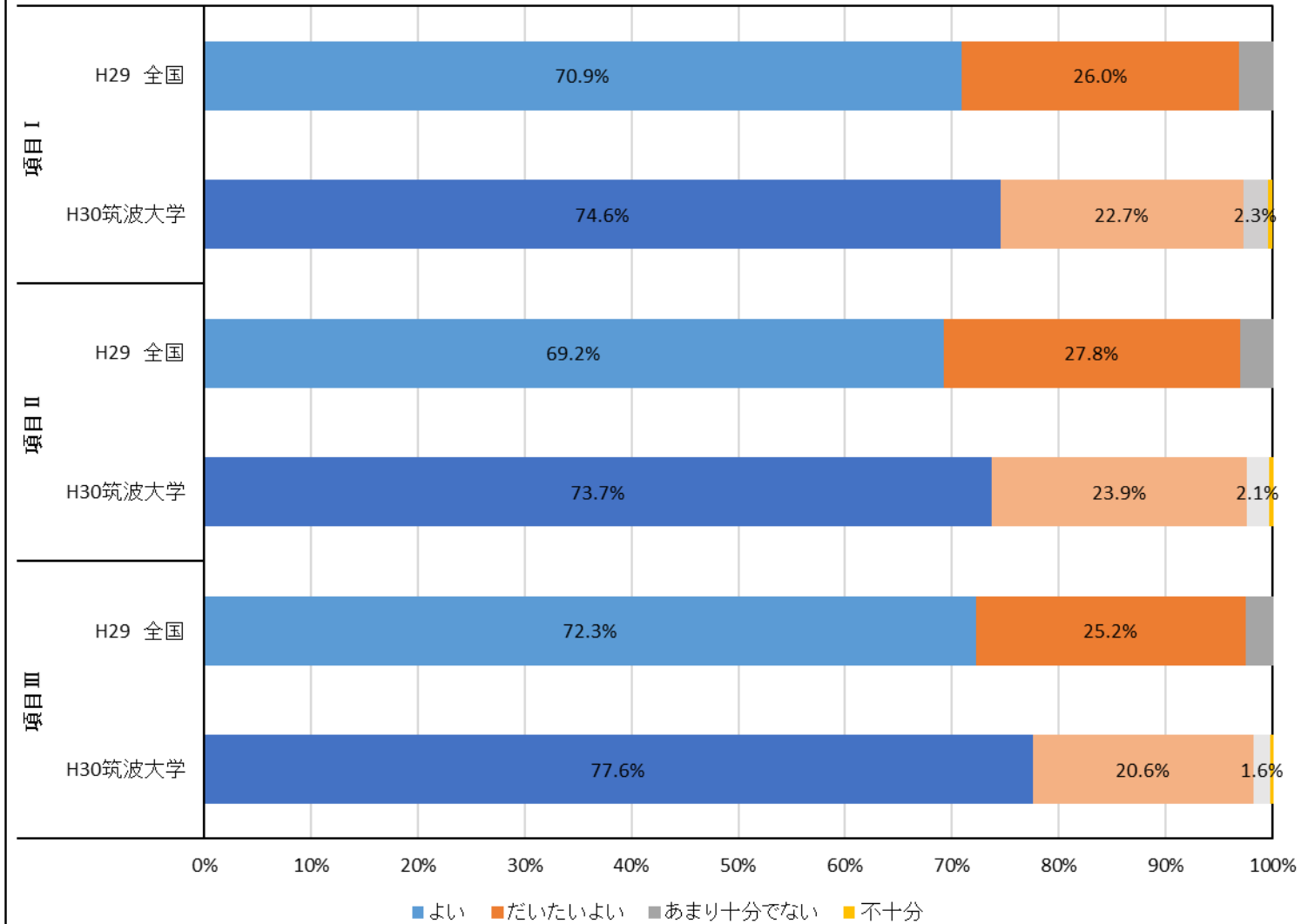
※各講習別の評価結果は【資料2-3】を参照

文科省指定項目による評価結果

【選択領域】 3項目の合計値



選択領域 項目別比較



選択B・C・D: 昨年度評価平均との比較

・評価項目Ⅰ～Ⅲ：
文部科学省指定項目

・評価項目①～⑦：
筑波大学独自の項目

B

選択B 昨年度平均	3.7	3.8	3.8	3.6	3.7	3.7	3.7	3.8	3.7	3.8
評価項目	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
選択B 今年度平均	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8

C

選択C 昨年度平均	3.7	3.7	3.8	3.6	3.6	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8
評価項目	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
選択C 今年度平均	3.7	3.6	3.7	3.5	3.6	3.7	3.7	3.8	3.7	3.7

D

選択D 昨年度平均	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.7	3.9
評価項目	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
選択D 今年度平均	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.9

※各講習別の評価結果は【資料2-3】を参照

③ パネルディスカッションの趣旨の確認

筑波カリキュラムの充実をめざして

「受講してよかったと思って帰ってもらえる講習」
であるために <開設当初からのモットー>

<事後アンケート自由記述より>

- 質の高い講習の提供
- 受講者 ニーズや時代に応じた講習
- 学校現場で活かせる講習
- 手続きの 分かりやすさと 快適な受講環境

受講経験者

受講予定者

筑波カリキュラムの充実&周知

講習担当

運営担当

よろしくお願いします